

慶應義塾臨床研究審査委員会 議事録（概要）
(2025年度 第9回)

日 時 2025年12月26日（金）15:02～17:24

場 所 2号館8階会議室1、Web会議（Zoom）

出席委員

	氏名（敬称略）	性別	設置機関の内外	専門等	出欠
委員長	小澤 宏之	男	内	医学又は医療の専門家	出
副委員長	神山 圭介	男	内	医学又は医療の専門家	出
委員	岡村 智教	男	内	医学又は医療の専門家	出
委員	磯部 知愛	女	外	医学又は医療の専門家	出
委員	竹下 啓	男	外	医学又は医療の専門家	出
委員	林 香	女	内	医学又は医療の専門家	欠
委員	家田 真樹	男	内	医学又は医療の専門家	出
委員	奈良 雅俊	男	外	生命倫理に関する識見を有する者	出
委員	有馬 斎	男	外	生命倫理に関する識見を有する者	出
委員	矢田部 菜穂子	女	外	法律に関する専門家	出
委員	唐澤 貴夫	男	外	法律に関する専門家	欠
委員	天野 慎介	男	外	一般の立場の者	出
委員	馬上 祐子	女	外	一般の立場の者	出
委員	福島 慎吾	男	外	一般の立場の者	出

小澤委員長、神山副委員長、竹下委員、奈良委員、天野委員は会場にて参加、他の委員はWeb会議で参加。

陪 席 事務局（病院 学術研究支援課）：鶴尾、光永、木村、千羽、福原、石倉、一瀬

議 事

小澤委員長より、慶應義塾臨床研究審査委員会規程第18条第1項と第2項の要件の全てを満たしていることが確認され、会議の成立が報告された。

【1. 承認事項】

1. 前回（2025年11月25日開催）議事録について

前回の慶應義塾臨床研究審査委員会議事録（案）について確認がなされた。
委員より特に指摘はなく、承認された。

【2. 報告事項】

(1)受付状況について

事務局より、課題審査と報告書の審査申請の受付状況が報告された。

(2)前回（2025年11月25日開催）から今回（2025年12月26日開催）委員会までの結果通知について

事務局より、前回から今回委員会までに発行した判定の結果通知（資料名：前回-今回の審査結果通知_2511-2512_20251226）について報告が行われた。

(3)前回（2025年11月25日開催）から今回（2025年12月26日開催）委員会までに受領した軽微変更通知について

事務局より、前回から今回委員会までに受領した軽微変更通知1件について報告が行われた。

受付番号 : N20220006-7

(4) 前回（2025年11月25日開催）から今回（2025年12月26日開催）委員会までに受領した委員会審議不要事項について

事務局より、前回から今回委員会までに受領した委員会審議不要事項3件について報告が行われた。

受付番号 : N20220009_その他 251127、N20190005_その他 251127、N20220003-7

【3. 審議事項】

(1) 研究当事者である委員の委員会出席の確認について

小澤委員長より、審議に先立ち、審議課題の当事者である委員は審議および採決に参加することができないため、判定の際には退出していただくことが説明された。

今回は3_3について林委員が研究分担医師として該当するが、今回は欠席であることが説明された。

(2)-1 《課題の審査》

小澤委員長より、本日審議される3件について報告され、出席の委員により審議し、委員の合意に基づき判定を行った。

3_1 受付番号 : N20230006-17 (変更(初回))

統括管理者: 正木 克宜 (慶應義塾大学医学部・内科学(呼吸器))

課題名 : 生物学的製剤投与中の成人重症喘息患者を対象としたオマリズマブへの
切り替え効果検証試験

判定 : 承認

3_2 受付番号 : N20240004-6 (変更(初回))

統括管理者: 山元 良 (慶應義塾大学医学部・救急医学)

課題名 : 外傷性脳損傷に対するペランパネルの神経保護作用を期待した drug
repositioning: 第二相多施設共同ランダム化比較試験

判定 : 承認

3_3 受付番号 : N20230003-10 (変更(初回))

統括管理者: 吉藤 歩 (慶應義塾大学医学部・感染症学)

課題名 : 糖尿病・血液透析患者を対象とした帯状疱疹ワクチンの免疫学的検討

判定 : 承認

(2)-2 《報告・通知の審査》

提出のあった1件の報告書および通知について、出席の委員により審議し、委員の合意に基づき判定を行った。

3_4 受付番号 : N20200007_重大な不適合 251021 再2 (重大な不適合)

統括管理者: 内田 裕之 (慶應義塾大学医学部・精神・神経科学)

課題名 : 治療抵抗性うつ病に対する quadripulse transcranial magnetic
stimulationによる次世代ニューロモデュレーション治療法の開発とその
治療メカニズムの解明

判定 : 承認

以上